

不用品は捨てるずに寄付を 信頼できる寄付サービスを品目別に紹介

年末年始や引っ越しなど、部屋を片付けることで出てくる不用品は、まだまだきれいであれば、困っている人たちの役に立つことがある。この記事では6つの品目ごとに、不用品を寄付できるサービスや団体を紹介する。



ELEMINIST Editor

エレミニスト編集部

日本をはじめ、世界中から厳選された最新のサステナブルな情報をエレミニスト独自の目線からお届けします。エシカル&ミニマルな暮らしと消費、サステナブルな生き方をガイドします。

2020.12.18

家の不用品でも誰かの役に立てられる

部屋の片付けをすると、不用品が必ず出てくる。処分しなければと思いながらも、まだ使えるものを捨てることに罪悪感を覚える人も少なくないだろう。

人気のフリマアプリやネットオークションで売れるのもいいが、困っている誰かの役に立てるかもしれない“寄付”という選択があることも覚えておいてほしい。

寄付するときに気をつけたいポイント

物品を寄付する際は、しっかりと役立ててくれる団体かどうか調べよう。経歴や活動実績、寄付金の最終的な用途などがホームページに明確に表記され、透明性のあることが重要だ。

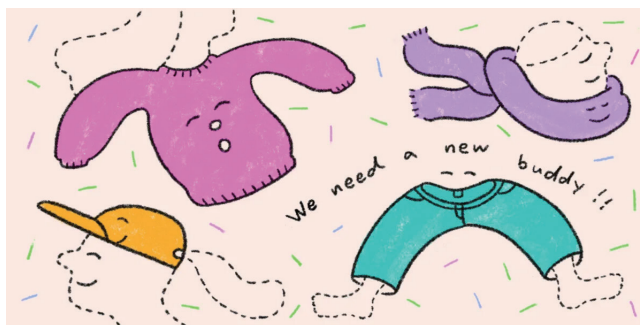
物品を送る際には、まず状態に注意しよう。壊れているのはもちろんのこと、汚れがついていたり不衛生だったりすると寄付にはならない。

団体によっては受け入れする物品や送り方についての細かい規定があり、時期によっては受け入れを中止している場合もある。ホームページに掲載されている項目は、必ず確認しよう。

ではさっそく、不用品のアイテム6つごとに、寄付を募っているおすすめ団体を厳選して紹介する。

6つの品目別に見るおすすめの寄付先

古着



古着 de ワクチン

「古着 de ワクチン」は、専用回収キットを購入して古着やバッグを送り、社会に役立てる仕組み。集まった衣類は主に開発途上国に輸出され、現地で選別し安価で再販されることで、**現地の雇用創出**の助けになる。

さらに「認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」を通じて、**一口につき5人分のポリオワクチン**が贈られる。後日ホームページからレビューすれば、1件につき1人分のワクチン寄付も追加できる。

利用方法

1. ホームページから**専用回収キット（税込 3,300 円）**を購入する。
2. 大きな強化紙袋や着払い伝票などが届くので、紙袋に衣類や靴、バッグ、服飾雑貨を詰める。
3. 佐川急便に集荷依頼して引き渡す。

古着 de ワクチン（日本リユースシステム）

<https://furugidevaccine.etsl.jp/>